

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1234	単位数	2
担当者名	島津 望	開講semester	第5semester	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

地域再生の産業構築について学び、インバウンド観光等の特需に頼らない、自立した地域産業（観光産業を含む）の作り方について考える。ゼミナールでは、ゼミナールで得た知識をさらに深掘りして学ぶ。これを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力が身に付く。の作り方について考える。ゼミナールでは、ゼミナールで得た知識をさらに深掘りして学ぶ。これを通して、本学のカリキュラム・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力を身につけること」を目指す。

● 到達目標

地域再生の産業構築事例を通して、地域固有の課題の背景、原因、解決策を総合的に理解する能力が身につくようになる。その結果として、様々な現象について、その因果関係を推論する能力を養うことができるようになる。

● 授業内容

- 1週目 テキスト「里山資本主義」を理解する1「資本主義と商品」（レクチャーとディスカッション）
- 2週目 テキスト「里山資本主義」を理解する2「富と豊かさ」（レクチャーとディスカッション）
- 3週目 学生による発表（発表者1）
- 4週目 学生による発表（発表者2）
- 5週目 テキスト「里山資本主義」を理解する3「戦後の産業政策と過疎、および工業社会とはどのようなものか」（レクチャーとディスカッション）
- 6週目 テキスト「里山資本主義」を理解する4「開かれた地域主義と社会的ネットワーク」（レクチャーとディスカッション）
- 7週目 学生による発表（発表者3）
- 8週目 学生による発表（発表者4）
- 9週目 テキスト「里山資本主義」を理解する5「グローバル経済とローカル経済」（レクチャーとディスカッション）
- 10週目 テキスト「里山資本主義」を理解する6「農業基本法がもたらしたもの」（レクチャーとディスカッション）
- 11週目 学生による発表（発表者5）
- 12週目 学生による発表（発表者6）
- 13週目 テキスト「里山資本主義」を理解する7「無縁社会とその克服」（レクチャーとディスカッション）
- 14週目 学生による総合プレゼンテーション（発表者1～3）とディスカッション
- 15週目 学生による総合プレゼンテーション（発表者4～6）とディスカッション
- 16週目 全体を通しての総括と講評。ただし、やむを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業をおこなう。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミでの報告資料作成やレポートを書くために、週2時間の予習・復習が必要である。

● 成績評価の方法・基準

授業参画、プレゼンテーション、ゼミ論文などによる総合評価。

● 履修上の留意点

予習は予め提示したテキストの箇所を読み込むことや、発表のための資料作成に2時間を要する。復習はその週に学習した内容をノートにまとめることに1時間を要する。

学期の最後にはゼミ論文提出を義務とするので、心得て履修すること。

● 課題に対するフィードバックの方法

課題(プレゼンテーション、ゼミ論文)に対するフィードバックは当日あるいは翌週に、課題のポイントを解説しながら、発表者や他の学生とディスカッションするなどしておこなう。

● テキスト

藻谷浩介『里山資本主義』（角川書店）859円
このテキストは、特殊講義（農山村再生論A）、特殊講義（農山村再生論B）、観光研究ゼミナール、と同じものである。

● 参考書

藻谷浩介『進化する里山資本主義』（the japan times 出版）1800円
内山節『共同体の基礎理論』（農文協）2860円

● 更新日付

2022/03/01 04:32